

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード 30110 ①	震災復興・津波避難道路整備事業		予算 科目	会計 一般	款 8	項 2	目 3	事業種別	☒ 主な事業
施策体系	基本施策	18	安全で快適な道路の整備		根拠法令	道路法					☒ 国土強靱化地域計画
	施策の展開	33	主要道路の整備		戦略事業	161	震災復興・津波避難道路整備事業				☐ 新市建設計画
	施策の展開	56	防災施設の整備		戦略事業	250	震災復興・津波避難道路整備事業				☐ 定住自立圏構想
											☒ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☒ 期間限定複数年度 平成 25 年度～ 平成 32 年度まで	東日本大震災の津波被災地域における避難道路の整備及び被災地域の復興のための重要路線の整備を実施する。 横根・三川線（飯岡地区と津波避難場所である飯岡中学校を結ぶ路線）L=1.3km（平成25～令和2年度） 椎名内・西足洗線（椎名内地区と災害拠点病院及び防災拠点である旭中央病院を結ぶ路線）L=3.0km（平成26～令和2年度）	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
災害時の避難道路の確保や被災地域と防災拠点のアクセス向上をはかるため。	用地取得の進捗が課題。	住民からは事業の早期完了が求められている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (30年度の決算)		単位	千円	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
1.道路改良工事	70,074	1-064号線、1-065号線 道路改良工事	千円	81,000	10,400	49,255	70,074	356,944
2.補償金	90,132	物件補償費	千円	0	48,652	138,062	90,132	83,300
3.委託料	16,815	不動産鑑定、物件調査、測量調査、道路詳細設計	千円	73,833	38,307	20,728	16,815	10,817
4.用地購入費	58,346	道路用地購入	千円	0	93,902	34,704	58,346	74,000
5.その他	0	旅費	千円	16	20	15	0	48
② 特定財源の内訳 (30年度の決算)		単位	千円	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
1.国庫支出金	94,490	社会資本整備総合交付金	千円	154,849	191,281	242,764	235,367	525,109
2.都道府県支出金	0		千円	25,850	42,374	56,950	94,490	82,500
3.地方債	0		千円					
4.その他	59,042	東日本大震災復興交付金繰入金ほか	千円	99,045	51,723	91,871	59,042	243,752
			千円	29,954	97,184	93,943	81,835	198,857

前年度増減理由	工事費、及び用地補償費の増による
---------	------------------

従事職員数 常時 4 人 最大 6 人 × 150 日 = 延べ 900 人

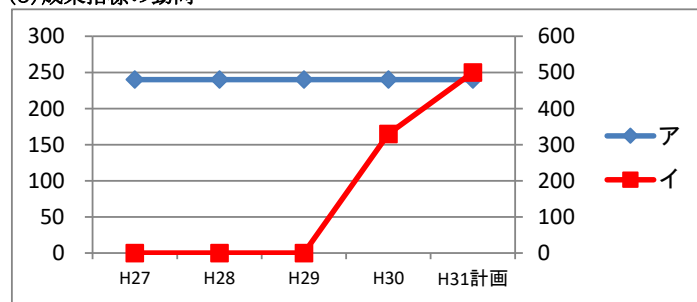
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	30年度実績 (30年度に行った主な活動)	用地取得率 (横根・三川線)	%	0	18	55	70	100
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	用地取得率 (椎名内・西足洗線)	%	0	43	61	77	90
	対象 市民	整備延長 (横根・三川線)	m	240	240	240	300	100
意図	災害時の避難道路の確保	整備延長 (椎名内・西足洗線)	m	0	0	220	620	650
	対象 意図	④ 成果指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
意図		ア 供用済延長 (横根・三川線)	m	240	240	240	240	240
		イ 供用済延長 (椎名内・西足洗線)	m	0	0	0	330	500

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
大きい		①	優先度評価対象外
普通	⑤	②	
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 成果指標イ 数値増＝成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 令和元年度 内容 引き続き用地交渉を行い、用地取得済箇所から道路改良工事を行う。 今後の方向性 ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 () 令和元年度以降 用地取得・道路工事を引き続き進める。